

地下鉄7号線中間駅まちづくり方針(素案)

令和4年3月
さいたま市都市戦略本部未来都市推進部

中間駅周辺地区が目指す将来像とまちづくりのテーマ

基本コンセプト

●新たな情報技術の実装に伴うアフターコロナの新たな生活様式

新型コロナウイルス感染症の影響によるリモートワークの急速な普及や、5Gなどの情報技術の進歩により新たな社会実装が進み、ライフスタイルにも大きな変化を及ぼすことが予想される。

また、郊外都市や住まい・働き方の在り方も見直されている中、本地区は、都心へのアクセスや緑あふれる自然環境などの地理的ポテンシャルから、アフターコロナの新たな生活様式を実現する適地と考えられる。

●SDGs・ゼロカーボンの実現に向けた環境配慮型都市への転換

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標「SDGs」、2050年ゼロカーボンシティへの取り組みによる自然エネルギーの活用その他、AI、IoTなどの新技術やデータを活用したスマートシティなどの取り組みがはじまっており、次世代の環境配慮型都市への転換をはかり、先端技術等を導入した新たなまちづくりの創造を目指します。

●さいたま市東部地域の更なる活性化

さいたま市東部地域の浦和美園と岩槻の2副都心間を鉄道新線によって結ぶ中間地区にあたることから、既存副都心との連携によって、さいたま市東部地域の更なる活性化の役割を担う。

中間駅周辺地区の将来像

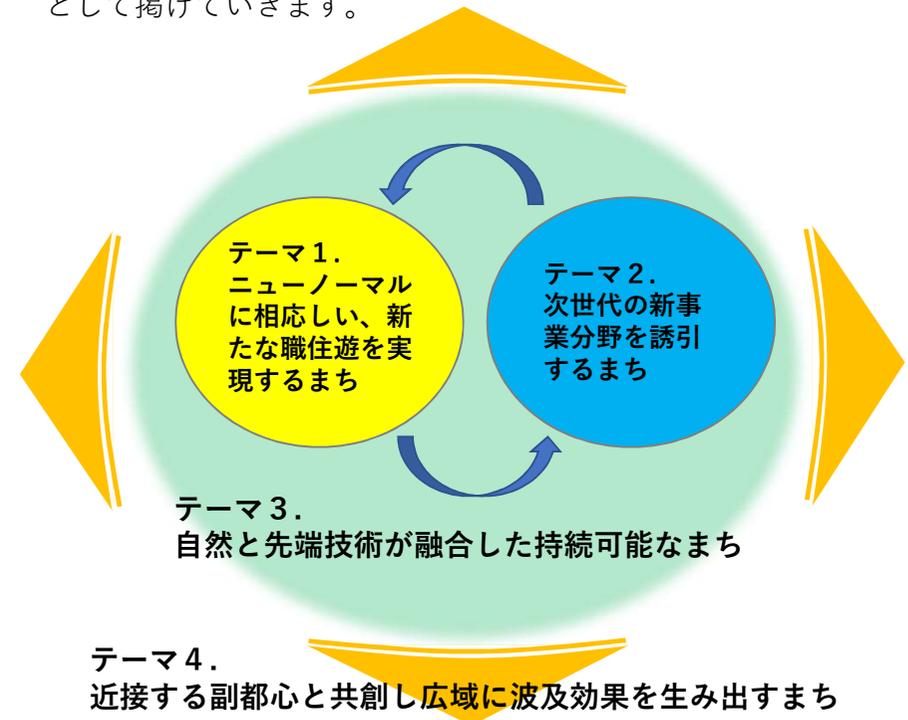
人と環境の新たな関係を創り出す先導都市

『Wellness & Green City』

まちづくりのテーマ

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、新たなライフスタイルが生まれ、様々な科学技術の社会実装が進むとともに、自身の心身の健康や、健全な地球環境の回復といった、私たちの生活を根本から支える要素に注目が集まっています。

当地区で新たなまちづくりを進めるにあたり、豊かな自然を活かし、人の生活や環境の健康・健全さを回復させることをまちづくりのテーマとして掲げていきます。



地下鉄7号線中間駅まちづくり方針(素案)

各テーマにもとづく「まちづくりの方針」

テーマ1. ニューノーマルに相応しい、新たな職住遊を実現するまち

方針① 在宅ワークにも適応できる、ゆとりある住環境づくりや、農業による地域振興などを促進します。

方針② 近接都心との共創によりフレキシブルワークを推進します。



テーマ2. 次世代の新事業分野を誘引するまち

方針① ウェルネスをテーマに、関連する新たな産業の創出を図ります。

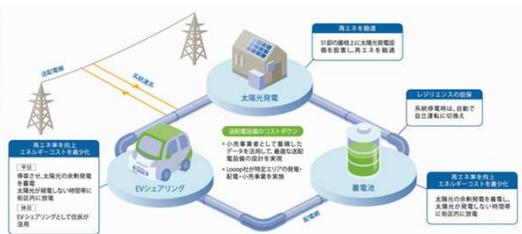
方針② 災害ローリスクを活かした企業誘致をします。



テーマ3. 自然と先端技術が融合した持続可能なまち

方針① SDGs・ゼロカーボン実現に向けた建築・交通・エネルギーシステムを導入します。

方針② 産学公民の連携により、社会施策に取り組みます。



テーマ4. 近接する副都心と共創し広域に波及効果を生み出すまち

方針① 地区内外を通して多面的な機能を共有します。

方針② 浦和美園、岩槻の近接都市との連携により、地域アイデンティティを共創します。



地下鉄7号線中間駅まちづくり方針(素案)

基盤整備イメージと導入機能

コミュニティ機能

◆コミュニティ機能(公共公益施設)

コミュニティ機能を含む複合施設を設置。地域活動の拠点として交流機会の提供。

◆オープンスペース機能(グリーンインフラ)

ニューノーマルで一層重要性が増す、公園等のオープンスペースを確保。森林や歩行者ネットワークと連携、またイベントスペースや避難場所としても活用できる、緑の空間を確保。

◆ウェルネス機能(医療・健康)

ウェルネスをテーマに、産学公民の連携により、新たな産業を創出。

◆産業業務機能

SDGs・ゼロカーボンの環境目標実現に向け、地域と企業が連携し、自然エネルギーの活用や緑地空間の確保を推進するとともに、地域全体での社会実験の実施などにより、先端的な新事業を育む環境を目指す。

◆情報発信・リモートオフィス機能

まちの情報発信を行う窓口としてのセンター機能や居住者等が自由に利用できるリモートオフィス機能を設置。

産業業務機能

居住機能

◆居住機能・ゆとり居住機能

テレワーク等に対応可能なゆとりある間取りを確保した戸建住宅や駅周辺集合住宅を配置。

◆生活サービス機能(飲食・購買)

住民や従業者、駅利用者の生活に必要な最寄り品を販売するスーパーや小売店、飲食店等を配置。

◆歩行者ネットワーク

地区内各施設を結ぶ歩行者専用のネットワークを配置。歩行者専用道路や敷地内通路、歩道等により空間を確保。

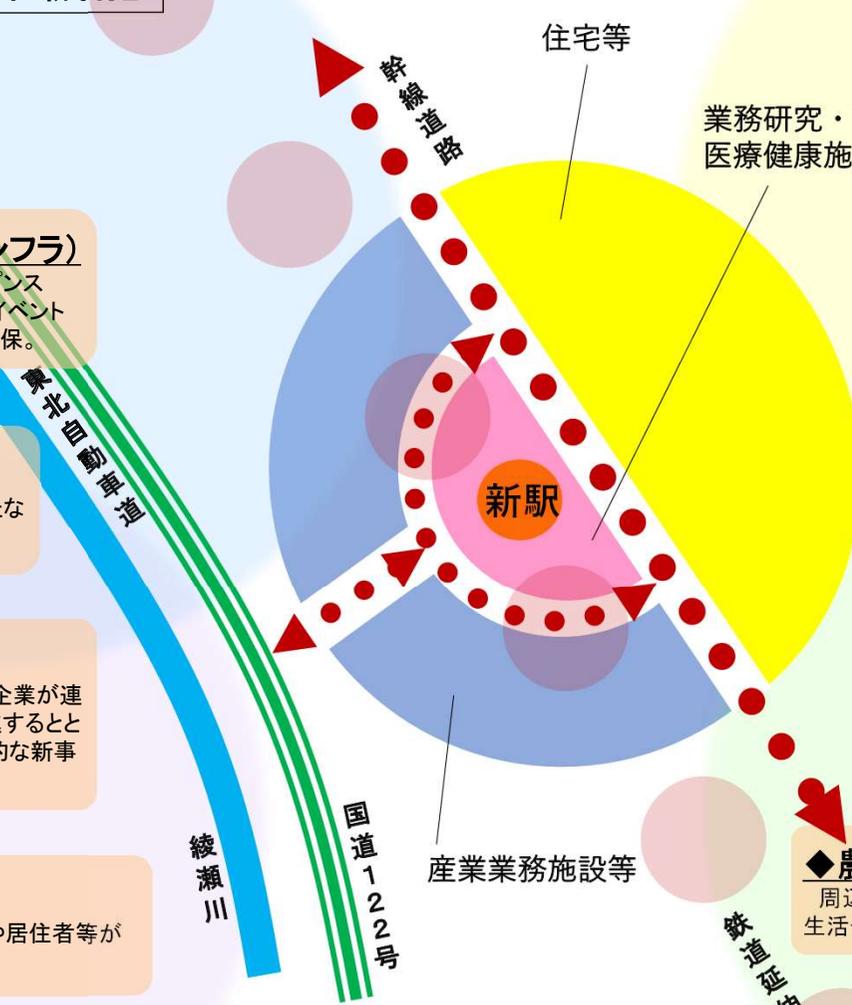
◆公共交通機能(駅前広場・新モビリティ)

鉄道駅、駅前広場とともに、駅から大学・研究施設・住宅地・商業施設など各拠点へ新たなモビリティによる移動。

◆農とのふれあい機能(アグリパーク、市民農園等)

周辺の農地や園芸農業の畑などを活用し、農とふれあう機能を提供。半農生活や農福連携の実践の場所として連携。

ゆとり機能



地下鉄7号線中間駅まちづくり方針(素案)

中間駅周辺地区まちづくり方針策定フロー

